

中国における「池田思想」研究の動向（6）

高 橋 強

1) 池田思想研究の学術シンポジウム

(1) 「第3回池田大作思想研究フォーラム」

中国文化大学（台湾）は、2009年3月2日、「人間主義と平和共生」と題し、フォーラムを開催した。全体会で6名、分科会で10名の計7大学から16名の研究者が論文を発表した。参加者は約200名を数えた。

基調講演では張鏡湖文化大学理事長が、創価学会の三代の会長が戦争に反対し、平和のために戦い抜いた歴史と、池田思想の本質について言及し、「池田思想の卓越性は、東洋の思想に基づきながら、文化や宗教の違いを超える真の寛容性を体現していること」を強調した。

発表された論文は、以下の通りである（発表順）。

全体会

- 「池田大作の世界市民観」高橋強（創価大学）
- 「人間主義と平和共生の基礎——池田大作の観点」劉焜輝（中国文化大学）
- 「専門知識と教養ある智慧の教育の重要性——池田大作平和、教育思想の啓発」林彩梅（中国文化大学）
- 「対話の文明——平和な希望の哲学」欧陽教（中国文化大学）
- 「莫讓神鐘对吊掛」劉広英（中国文化大学）
- 「今日の世界、明日の文明」陳鵬仁（中国文化大学）

<分科会Ⅰ>

- 「池田大作先生の平和共生思想から見た兩岸の平和共栄と発展」唐彦博（育達商業技術学院）
- （* 兩岸とは台湾海峡を挟んだ中国と台湾のこと）
- 「文明対話の努力の方向」王吉林（中国文化大学）
- 「金融恐慌と環境発展——池田大作先生の物質観」盧昭彰、陳鴻助（台南科技大学）

<分科会Ⅱ>

- 「妙法蓮華經の勝義より池田大作の人間思想を論ず」陳育澗、邱創雄（南台科技大学）

「『以法致勝』を有する世界市民」 吳威志（雲林科技大学）

「池田大作の児童文学作品中の平和思想」 王万清（南台科技大学）

<分科会Ⅲ>

「池田大作の『法華經の智慧』についての考察」 周建亨（中国文化大学）

「平和文化的経営理念と人事資源管理制度の関係」 林瑞山（中国文化大学）

「英米日・台湾子会社の平和文化経営理念と異文化管理の比較研究」 李美慧（北台湾科学技術学院）

今回のテーマ「人間主義と平和共生」から提出論文を概観すると、劉論文はその両者の関係まで論述を試みており、シンポジウム全体の議論に有意義な論点を提起している。以下、その概要を紹介する。即ち、池田博士の人間主義と平和共生理念の関連は、①平和共生は人類の最終目標である、②人間主義は平和共生の前提である、③人間主義の深化は世界市民教育に依拠する、④対話は平和共生の原点である、の4点に総括することができる。なお今回の提出論文の中に、「世界市民」に関連した2編の論文、また「平和共生」や「対話」に直接関連したそれぞれ1編の論文があったが、劉論文と比較して見ると、より立体的な議論が期待できると思われる。

(2) 「人間主義と人類の発展——第5回池田大作思想国際学術シンポジウム」

中国・大連の遼寧師範大学で、10月24日、25日にかけて開催された。参加大学・諸団体は60機関、研究者は150余名、提出論文は63編であった。現在23を数える池田研究機関からも18の機関が参加し、有意義で充実したシンポジウムであった。

今回の大きな特色は、大学院生を対象とした分科会「青年フォーラム」を設けたことである。活発な質疑応答が行われ、大変に盛況であった。また大連にある諸大学（遼寧師範大学、大連外語大学、大連理工大学、大連大学、大連工業大学）の首脳によって構成される「大連中日教育文化交流協会」からの多くの参加者があったことも特色の一つである。シンポジウムの模様は「中国社会科学報」等で紹介されている。

以下、基調報告および分科会に提出された論文を紹介する。

基調報告

「池田大作先生の文学観」 孫立川（香港天地図書）

「教育の本質」 賈聚林（大連中日教育文化交流協会）

「人間主義、民衆の力と中日友好」 黄順力（アモイ大学）

「池田大作の品格教育から見る兩岸品格教育の発展」 唐彦博（育達商業科技大学）

分科会 (24日)

<環境保護と人類の発展>セッション

- 「低炭素の視点：池田大作の人類発展研究」陳曉春、顔克高（湖南大学）
- 「池田大作の世界問題観と対策思想」胡方（武漢大学）
- 「“核の無い世界”と人類の発展」汪鴻祥（創価大学）
- 「“自己への関心”と地球への愛」盧風（清華大学）
- 「池田大作の環境思想論」曾建平、李雪芹（井岡山大学）

<池田大作と人間主義>セッション

- 「池田大作の人間主義心理学」張明、劉蘇（東北師範大学）
- 「池田大作の人間主義教育思想」章舜欽（アモイ大学）
- 「池田大作児童教育理念」拜根興（陝西師範大学）
- 「池田大作新人間主義思想の地球市民に対する重要性」林彩梅（中国文化大学）
- 「人間主義と児童の発展」蔣菊（肇慶学院）
- 「中国先秦時期の民本思想およびその現代的価値」劉建榮（湖南師範大学）

<平和と調和思想>セッション

- 「中国古代哲学と池田大作の調和思想」施保国（安徽大学）
- 「池田大作の人類平和思想における仏教の淵源」黄海徳（華僑大学）
- 「平和的協力の新世紀を開く」王夏冰（安陽工学院）
- 「“大仁”と“中華の共通認識”」張耀南（北京行政学院）
- 「心の世界の覚知」洪剛（大連水産学院）
- 「池田大作の東南アジア平和思想」劉少華（湖南大学）

<池田大作思想 I >セッション

- 「池田大作の教育思想及び中国に対する啓発」俞慰剛（華東理工大学）
- 「池田大作とアウレリオ・ペッチェイの『人間革命』論」勘坂純市（創価大学）
- 「池田大作の“民衆史観”」蘭明（遼寧師範大学）
- 「女性に贈る言葉から見た池田大作の女性観」謝秦（陝西師範大学）
- 「池田大作教育倫理思想の基礎」黄富峰、冉毅（湖南師範大学）
- 「池田大作の写真観」李春泰（嘉応学院）

<人間主義と大学理念>セッション

- 「中道人間主義は創価教育の指標」劉焜輝（中国文化大学）
- 「人間主義的な創価大学教養教育」倪素香（武漢大学）
- 「デューイと池田大作の“学校職能”観及びその啓発」原青林（肇慶学院）

「池田大作現代教育観の青年教育過程における機能」馬亜男（南開大学）

「“皮格馬利温効果”と青年使命教育」单珏慧（浙江大学）

「人間理性は全地球文明の貴重な財産」温憲元（広東社会科学院）

<青年フォーラム>

「池田大作教育思想初論」魯麗梅（遼寧師範大学）

「池田大作の“三位一体”教育思想及びその思想政治教育への啓発」張懷予（南開大学）

「創価大学の建学の精神に対する考察」呂雪艷（南開大学）

「池田大作教育思想」馬秀梅（遼寧師範大学）

「自己創造と自己への忠実——池田大作『私の人間学』を読んで」白燕妮（遼寧師範大学）

「池田大作の“健康的生命”に関する考察」馮現華（遼寧師範大学）

「人間主義——池田大作の世界平和思想の基礎」竇月萍（遼寧師範大学）

分科会（25日）

<池田大作思想Ⅱ>

「池田大作とデューイの芸術文化思想の比較」董芳勝（創価大学）

「池田大作の撮影作品における禅意」王亜（韶関学院）

「『対話』から見た中国精神」顧偉坤（上海外国語大学）

「仏法における生命の研究——池田大作の生命観」鐘明華、鄭麗娟（中山大學）

「池田大作の言語観と実践」朱俊華、劉愛君（大連工業大学）

「魯迅の革命精神との共鳴」陳紅旗（嘉応学院）

「池田大作の思想」陳家起（南京師範大学）

<池田大作の政治思想と人間教育>セッション

「大公、大智、大信——周恩来と池田大作の友誼」紀亜光、関毅（南開大学）

「池田大作の人間教育観」高橋強（創価大学）

「創価教育学における人間の価値——馮契哲学との比較」樋口勝（創価大学）

「池田大作の政治思想論」崔学森（遼寧師範大学）

<徳育と社会>セッション

「池田大作の読書観」官建平（韶関学院）

「21世紀徳育の人間化の動向」王麗榮、柳媛（中山大學）

「地球化の中の人類理解及びその徳育過程」陳志興（南昌大学）

「家庭と社会」曹婷（陝西師範大学）

「大学の国際交流と協力」郝世棟（東北大学）

「“EUの父”カレルギーの戦後日本に対する影響」胡令遠（復旦大学）

<青年フォーラム>

- 「“人間主義”と中国大学の学生クラブの発展」章楊（南開大学）
- 「池田大作の10度の訪中に関する考察」呉榮生、王雪超（南開大学）
- 「教育思想における人間主義——池田大作先生の教育思想学習体験」王晨曦（遼寧師範大学）
- 「女性の調和のとれた家庭建設における役割」劉莹玉（遼寧師範大学）
- 「池田大作の平和思想」田小涔（遼寧師範大学）
- 「池田大作の世界平和思想」白鶴翔（遼寧師範大学）
- 「池田大作の“生命尊厳”思想」王菲菲（遼寧師範大学）

今回のテーマは「人間主義と人類の発展」であったが、教育関係の論文が20編を占めた。その分析の視点は、教育の本質、品格教育、児童教育、地球市民教育、教育倫理、学校の機能、青年教育、徳育、三位一体の教育思想等、多種多様である。その内4編が、池田博士の創立した教育機関での創価教育やその実践を研究対象にしたもので、昨年に引き続き注目を集めている。シンポジウムテーマの「人間主義」との関連で見ると、「人間主義」を取り上げた論文は9編であったが、その内7編が、教育関係の内容であった。池田博士の教育思想が、人間主義を根底にしているが故に注目されているのであろう。

次に多かった論文は、平和関係のもので、全部で6編であった。開催校である遼寧師範大学の研究所が「池田大作平和文化研究所」という影響もあったのであろう。なお研究の視点が大変に興味深い。即ち、核のない世界、東アジアの平和、仏教思想との関係等であった。今年には池田博士の中国訪問35周年、さらに周恩来総理との会見35周年という節目も影響してか、池田博士と中日友好関係の論文も、民衆の力と中日友好、周恩来と池田大作、中日友好思想等4編が提出された。近年、天津社会科学院「周恩来と池田大作研究グループ」が『池田大作と中国』『中国指導者と池田大作の会見』（中央文献出版社）を出版したこと、また『我的中国観』（四川人民出版社）が出版されたことを考えると、今後、「池田大作と中国」という研究領域が新たに広がっていく可能性が読み取れる。

環境関係の論文は、低炭素や環境教育等の視点から、また芸術関係の論文は、撮影作品やデビューの芸術文化思想との比較等の視点から、それぞれ3編提出された。前者は、「人類の発展」を考える際に、今日最も緊急の課題である。更なる研究成果が望まれるところである。また後者は、「人間主義」を考察していく際に、特により豊かな人間性への探求という際に、重要は側面である。生命哲学関係は、生命論、生命尊厳思想の2編が、また女性論関係は、女性観、調和のとれた家庭における女性の役割の2編が、それぞれ提出された。前者は、池田思想の原点を探究するという観点で、また後者は、池田博士の主張する「21世紀は女性の世紀」という観点で、それぞれ貴重な論文である。

全体テーマの中心的内容である「人間主義」について、極めて興味深い視点が提示された。以下、主要な内容であると思われる部分を紹介する。

- ・「個別を通して普遍を見る」という人生観や世界観は、人間に関心を寄せ、重視し、尊重する人間主義思想の精神を体現している。問題を思考する方式には、終始「人間」を一切の出発点にするが存在する。人間主義を基軸に出発し、民衆の力を一貫して信頼する。平和事業の主体者として。(黄順力)
- ・池田博士の人間主義は、西洋の人間主義、“自由、平等、博愛”を批判的に受け入れ、仏教の人間に対する“究極的な関心”および儒教の“中庸”の特色を体現し、普遍的な視点より一個の生命を尊重し、人格や人間性に対し新たな解釈を提供している。(張明)
- ・人間主義とは、人間が一切の事業の出発であり最終目的であるということ。また人間をして、全面的に自由な発展を可能にすること。(章舜欽)
- ・池田博士の人間主義思想は、以下の4点を内包する。①生命価値の肯定、②中道人間主義、③平和共生の精神、④仏教、を基礎とした人間主義である。(林彩梅)
- ・池田博士は人間主義と仏教を融合させ、“中道人間主義”の観点を提起した。中道人間主義の特色は、①生命への肯定、即ち人間を根本とする価値観の反映、②生命尊厳、人間尊厳、平和主義の重視、③平和共生を追求する理念、④仏教、を基礎とする人間主義である。(劉焜輝)
- ・創価大学が“人間教育の最高学府たれ”の精神に基づいて、“全体人間”や“創造的人間”を共通教養教育の目標にしているところに、人間主義が体現されている。人間性を養う教育の具体的目標は、①自立、②多文化との共生力、③真の教養である。(倪素香)
- ・人間教育、人間主義教育の根本精神は、同苦と慈悲で表現される。慈悲の不断の実践は智慧の開発、無限の可能性の拡大に繋がり、さらに“如我等無異”に達する。一方、学生の側からすると、“感恩”“報恩”でもって教師に接することにより、価値創造の源泉を得ることになる。(高橋強)
- ・人間革命という命題は、人間自身から出発し、人間の力に依って危機に対応する重要な意義を有する。生命の変革は、人間と人間、人間と自然の調和が必要で、それによって初めて真実の生命の変革も実現する。(寶月萍)
- ・池田博士は“人間主義”者で、人間の必要性を重視し、人間の潜在性を信じ、人間の価値を実現する、といった準則は、全ての領域に貫かれている。池田思想の出発点は人間で、最終目的も人間で、この過程において、人間の価値を実現し最終的に幸福を獲得するのである。(章揚)
- ・人間主義的な教育思想の特色は、①人格の価値の創造、②家庭、学校、社会の三位一体の教育体系、③人類の幸福を目指す平和教育にある。(王晨曦)

(3)「第1回周恩来・池田大作思想国際青年学術シンポジウム」

南開大学で、12月5日、6日にかけて開催された。南開大学「周恩来・池田大作研究会」、遼

寧師範大学「池田大作思想研究会」及び中国留学中の本学学生を中心として、約100名が参加した。シンポジウムの模様は、中国政府、新華社のインターネットサイトなどで報道された。

以下、招待教員による基調報告と、学生による発表論文を紹介する。

基調報告

「中日の青年は如何に戦争を認識すべきか」 崔学森（遼寧師範大学）

「成人の通過儀式と青年教育」 平章起（南開大学）

「近代中国の民主主義とその国際関係への影響」 暴景昇（遼寧師範大学）

学生発表

「池田大作の三位一体教育思想及び思想政治教育への啓発」 張懷予（南開大学）

「水のような清らかな女性——周池会の女性から学ぶ」 王偉瑩（南開大学）

（*周池会とは「周恩来・池田大作研究会」の略称）

「周恩来、池田大作の人格的魅力の形成及びその体現」 呂雪艷、平野由季（南開大学）

「青少年への中日友好教育」 田小涇（遼寧師範大学）

「青年：中日友好の橋をかける人・池田大作の思想における青年の中日友好への重要な力」

王菲菲（遼寧師範大学）

「グローバル時代における中日関係の動向分析——青年教育の意義とその方法」 寶月萍（遼寧師範大学）

「司馬遷『史記』から見る池田大作の“個別を通して普遍を見る”思想」 武田暁雄（創価大学）

「人道的競争と尚文の気風」 古井雄大（創価大学）

「師弟間の対話を通して見る孔子の教育思想と池田大作の教育思想比較」 徳光洋子（創価大学）

(4) 「池田大作思想交流座談会」

北京大学にて、同大学池田大作研究会が12月21日に開催し、これには同大学日本研究センター李玉センター長、同研究会の宋成有会長はじめ研究員や、北京留学中の本学の学生も参加した。以下の発表を中心として意見交換がなされた。

「リハーノフ、池田対談『子どもの世界』を読んで」 張玉芝（同研究会）

『日本創価学会』を読んで」 王偉英（同研究会）

「中庸と中道——池田大作思想と実践」 菊池暁雄（創価大学）

2) 新設の池田大作研究機関、研究施設

上海師範大学「池田大作思想研究所」10月

組織機構：所長は陸建非副学長、副所長は蘇智良人文学院院长、夏広興国際交流処副処長、委

員は陳永明教育学院院長、王軍彦外国語学院教授、陳昌来社会科学処処長、嚴耀中人文学院教授
活動方針：4つのプロジェクトを中心に研究活動を推進する。「池田大作研究プロジェクト」、
「中日関係研究プロジェクト」、「歴史文化研究プロジェクト」、「教育研究プロジェクト」である。

高雄大学「池田大作研究専門コーナー」（台湾）12月

まず研究専門コーナーを設立し、今後は「研究センター」設立を目指す。主として池田大作の
人間主義思想を系統的に探究する。

3) 池田研究の成果等

2008年5月に華南師範大学で開催された「平和的発展における文化と教育」（池田大作思想）学
術シンポジウムの論文集『平和・文化・教育』（中国社会科学出版社2008年12月）が出版された。

中国文化大学「池田大作研究センター」（台湾）が「池田大作思想研究論文集」（第5号）（2009
年7月）を出版した。

天津社会科学院「周恩来と池田大作研究」グループが『中国指導者と池田大作の会見（上）』（中
央文献出版社2009年7月）を出版した。

『二十一世紀周恩来研究の新視野（上下）』（中央文献出版社2009年9月）に、「池田大作の心の中
の鄧穎超」（高橋強）、「周恩来と池田大作の友情の基礎」（曹応旺）が掲載された。

湖南師範大学「池田大作研究所」の譚桂林教授が『池田大作と世界文学』（中文大学出版社2010
年）を出版した。

また以下の研究課題が、日中友好学術研究助成プログラムに採択された。その内、研究助成は、
「池田大作の国際政治観の研究」、「調和的宗教民族観——池田大作民族思想研究」、出版助成は、
「池田大作のソフトパワー論」、日本滞在研究助成は、「創価教育思想と実践的研究」、「池田大作
の幸福思想の研究」、「牧口常三郎から池田大作——創価思想体系の伝承と創新」である。